

1	会議名	平成 30 年 第 14 回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	平成 30 年 10 月 22 日 (月) 午後 2 時 30 分～午後 3 時 08 分	
3	開催場所	2 階 特別会議室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委員 西村 宏、廣田 登志子、村尾 利勝、牧中 マリコ	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 : 山口 妙子 由宇支所長 : 本田 薫 玖珂支所長 : 宇佐川 武子 周東支所長 : 岩崎 幸子 錦支所長 : 岡 至教 美和支所長 : 角川 博義 教育政策課長 : 重岡 章夫 学校教育課長 : 大谷 弘喜 学校教育課主幹 : 村上 和枝 学校教育課英語教育推進室長 : 熊田 恵美 青少年課長 教育センター所長兼務 : 嶋岡 博昭 文化財保護課長 徴古館館長兼務 : 三浦 成寿 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 原田 広子 中央図書館長 : 中本 佳孝	
7	会議従事職員	教育政策課 : 光井 国康、善本 恵美	
8	会議録署名委員	西村 宏 、廣田 登志子	
9	議事日程		
	日程第 1	会議録署名委員の指名について	
	日程第 2	報告第 12 号	所管事項について
会議の概要	教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまから平成 30 年第 14 回岩国市教育委員会会議を開会します。はじめに、日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、西村委員と廣田委員にお願いします。本日の議題は、「報告第 12 号 所管事項について」以上でございます。</li> <li>・それでは、日程第 2 「報告第 12 号 所管事項について」を議題といたします。これについては協議会形式で進めたいと思います。それでは、各担当部署から先に配布しております行事予定表について補足等があれば、説明をお願いします。</li> </ul>	
	玖珂支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11 月 4 日の「玖西駅伝」は、教育委員会玖珂支所と周東支所が合同で開催しており、今年で第 60 回目を迎える伝統の行事です。参加チームは昨年が 55 チーム、今年は 50 チームと少しずつ減少している状態ですが、お時間の取れる方は沿道での応援をよろしく願いいたします。</li> </ul>	
	美和支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月 27 日に「本郷小中合同文化祭」があり、振替休業日の 29 日に佐古所長がバスをチャーターして山口市で開催されているゆめ花博に子供達を連れて行く予定です。</li> </ul>	

<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月1日の「岩国市英語教育推進フォーラム」では皆様方には大変御協力頂きました。英語推進室長からお礼と概要、成果等について報告をさせていただきます。</li> </ul>
<p>英語教育推進室長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月1日に開催いたしました「岩国市英語教育推進フォーラム」におきましては、チラシの配布、当日の参加等御協力いただき、ありがとうございました。また、廣田委員におかれましては、パネルディスカッションの司会、合唱団の出演等大変お世話になりました。ありがとうございました。</li> </ul> <p>おかげさまで、当初1階のみの会場開放を予定しておりましたが、当日参加の方も多くおられ、急遽、2階も開放するなど、予想以上の方に来場していただくことができました。参加人数として把握している数は、麻里布小6年生の児童も合わせて約550名です。来場者に書いていただいたアンケートでは、モデル授業について97%、パネルディスカッションについては79%の方が参考になったと回答していました。自由記述においても「モデル授業で授業の進め方を見ることができて良かった」「行政と教育現場等、多角的に英語教育に関する話を聞くことができてよかった」等、肯定的な御感想を多くいただきました。また英語教育推進室については、「今後どのように英語教育を進めていくのか知りたい」等、いくつか御意見をいただきましたので、今後の指針を明確にし、情報発信をしっかりとしていきたいと思っております。今回のフォーラムの実施により、成果だけでなく課題も出てきましたので、来年度は、この課題を踏まえ、より効果的で有効なフォーラム開催に向けて準備をしていこうと考えております。今度ともよろしく願いいたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報道等においても肯定的な意見が多く、各小中学校においても今後さらに英語教育が推進していくよう学校教育課としても続けていきたいと思っております。</li> </ul>
<p>青少年課・教育センター長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度のまちづくり実施計画では、南部教育支援教室の予算が備品以外つきましましたので、来年度から開設する予定です。</li> </ul>
<p>生涯学習課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月25日から11月2日まで市役所4階展示スペースで花いっぱいコンクール写真展を開催する予定です。上位3賞が2枚、それ以外を1枚展示します。</li> </ul>
<p>文化財保護課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月2日秋篠宮殿下、妃殿下お成りの際には、シロヘビの館を御視察されましたが、教育長及びシロヘビ保存会の森橋会長に御説明をいただき、無事に終えることができました。</li> </ul>
<p>教育長 牧中委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通して御意見・御質問がありましたらお願いします。</li> <li>・10月19日に由西小で行われた「山口県へき地・複式教育研究大会」に行っておりました。県内の先生方や複式系の学校又は今から複式系になる学校の先生方が80名少し来られてました。地域の方が駐</li> </ul>

	<p>車場までの誘導を、保護者の方が受付をされてました。また、由宇小・由宇中・神東小の先生方もスタッフとしてお手伝いされておられ、地域の団結力を感じました。授業は、神東小との遠隔授業の小学校1年生の国語の授業を見させて頂きました。神東小とは普段から遠隔で朝の会を一緒にされているそうです。最初は、児童がモニターに向かって発表や話をしていたそうですが、今はカメラを見て自分の考えを進んで伝えていけるようになったそうで、その姿を見させて頂きました。少人数ではありますが、同じ学校だけではなく、他の学校の児童と話し合うことで新しい世界が広がることを自覚し始めていると聞き、教育の未来を見たようでした。今までになく、また見たことのない授業でした。</p>
<p>廣田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月21日に「玖珂中学校文化祭」で合唱コンクールがありましたので行かせて頂きました。玄関周りに地域の方の陶芸作品や俳句、短歌、絵など展示がしてあり、地域で取り組んでいることも学校に取り込んでおり、保護者の枠を越えて地域の方が学校を愛していることを実感しました。コミュニティ・スクールもずいぶん浸透したなと思いました。素晴らしい文化祭でした。11月も玖南地区の小学校、玖北地区の小学校の音楽会があり、各学校の姿が一堂に会して見られることを楽しみにしております。</li> <li>・今年で2年目になりますが、11月9、10、11日に錦帯橋芸術祭が行われます。昨年同様、10日に錦帯橋上で大人と子供達で市歌を歌う催しがあります。篝火の薪を900本集めて焚くという幽玄な世界を味わった後、皆で歌を歌うという取り組みになっております。</li> <li>・先ほど英語教育推進教室から10月1日に行われた「岩国市英語教育推進フォーラム」の成果と課題の披露がありましたが、本当に沢山の方が来てくださり、担当課の苦労が実を結んだように思います。フォーラムでも話がありましたが、情報発信と行政と教育現場とのタイアップが一番大事なことだと思います。現場だけ、行政だけで進めていくのではなく、行政と現場がお互いに切磋琢磨していくことが物事を推進していくのではないかと思います。また、この教育委員会会議には、各支所長や私たち教育委員も出席していますので、今取り組んでいることとか進めていることなどを報告して頂けると、その推進を後押しできるのではないかと思います。</li> </ul>
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化の影響で、大学卒業者や教員免許取得者が減少し、全国的に教員の人材確保が問題になっていると思います。主要都市では、教員の分捕り合戦が行われていると思いますが、山口県や岩国市でも課題を抱えているのではないかと思います。臨採の補充率は正規の教員に対して何%ですか。</li> </ul>
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正規の教員が約1,000人、臨採は3月・4月の当初で行う研修で100</li> </ul>

村尾委員	<p>名おられるので、約1割です。教育支援員を含むと2割近い数になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨採の確保も非常に難しい現状です。数年前からの大量退職時代到来により、それに見合う新採の確保が出来にくく、どうしても臨採で対応している。今は、再雇用制度による再雇用の先生の割合が多くなっているのですか。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再任用もフルタイムなんですが、退職者が担任を持ったり、フルタイムを希望される方ばかりではないので、そこがミスマッチになっています。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60歳という年齢は、肉体的にも精神的にも非常にえらいため、再任用を希望する方がだいぶ減っているのではないかと思います。中には辞められるのが勿体ない先生もおられます。65歳までは働こうという世の中の風潮もあるので早く何らかのケアをしていかなければ、優秀な教員が、現場からどんどん離れていくという状況になっていくんじゃないかと思います。県と市町がスクラムを組んで臨採の確保に取り組んでいかないと、どうしても不足してくる。また、データ作りも必要になってくるのではないかと思います。経団連の就職の解禁がフリーになっている中、教員の試験から採用までが遅いため、その間に就職が決まって教員離れが進んでくる懸念もある。県の13市の課長会議でもそのことを県にアピールして、優秀な人材をどんどん採用できる体制作りが必要だと思います。教員の人材バンクも早目に開くなど、何らか早めに手を打っておかないと、採用試験も受験率が下がってきている現在、優秀な人材が集まらないのではないかと危惧しています。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の教員の2次試験の発表は10月4日でした。それを待っていると他の企業より遅い発表になるので、校長会で教育実習に来られた方や昨年度教育実習に来られて臨採をされている方々に声をかけ、紹介して頂くように言いました。また、市教委と県教委では臨採のデータ作りが出来ています。それから、県教委と大竹市や廿日市の方が連携しながら、候補者がいたら岩国市の臨採に入ってもらってます。県教委と早く連携を取って、学校に欠員が出ないように現在取り組んでおります。</li> </ul>
村尾委員 西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強力な推進を進めて頂きたいと思いますので、宜しくお願いします。</li> <li>・2点ほど質問させて頂きます。1点目は、「岩国市英語教育推進フォーラム」ですが、大変御苦勞様でした。モデル授業もディスカッションも大変だったと思いますが、限られた時間の中でまとまっていました。先ほど、多少課題もあったと言われてましたが、具体的にどういう課題があったのか紹介してください。</li> </ul>
英語教育推進室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は教員対象のため、平日に行い、市民の方に参加頂くことが難</li> </ul>

西村委員	<p>しかったのですが、来年度は研修内容も再考し、対象を誰にするか、開催日を土・日するか等検討したいと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ということは、シンポジウムもフォーラムも1回、2回ではなくこれからも続けてやっていくということですか。</li> </ul>
英語教育推進室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。来年度もやりたいと思っております。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラムの開催がメインの活動になりますか。</li> </ul>
英語教育推進室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。周知のための活動のメインになります。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、東小中の一貫教育についてよく聞かれますが、カリキュラムとか準備しないといけない事が沢山あると思うのですが、オープンに向けて、いつまでに何をやるといったスケジュール表は作られていますか。工事ではなく、中身の話ですが。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東小中・装港小・小瀬小の校長先生が、月1回協議をし、年間計画と32年4月に向けた4校のスケジュール表を作っています。カリキュラムについては、11月27日にモデル校としての発表に向け、東小中の先生方が協議し、それを14中学校区の教職員や保護者・地域の方が聞く機会を設け、進捗状況を確認したり、課題について対応し、精度を上げて行こうと思っています。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンの1年前くらいには、具体的なスケジュールや内容がだいたい決まりそうですか。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14中学校校区の試行的な1年間の取り組みを通して、32年4月には決定する予定ですが、準備を進めてきた教職員が異動する可能性もあるので、少し変更するかもしれません。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もうあまり日にちもないですし、私達に質問されてもよくわからないため、説明が出来ないので、市民の方にある程度説明できるようにしておかないといけない。ある程度内容が決まったら教えてください。</li> </ul>
学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補足ですが、東小中だけが取り組むのではなく、隣接の装港小・小瀬小との連携もあり、協議がなかなか前に進まない状態です。例えば、1時間の単位を現在の小学校の45分と中学校50分を何分で揃えるか、チャイムをいつ鳴らすか等、夏休みを中心に協議し、4月・5月に向け準備しております。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長は一人なのか、職員室はどうなるのかなど単純な事を疑問に思う方もおられます。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長は一人です。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうですね。私達はわかりますが、一般の方は小中が建物も一緒でどうやってやるんだろうかなどよく分かってません。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会でプリント等を1度配布し説明していますが、なかなか1度では浸透していません。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・由宇の教育支援教室が来年度開設される件について、生徒の居住範</li> </ul>

<p>青少年課長 村尾委員 青少年課長 村尾委員</p>	<p>圏は通津、由宇を含めていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校校区を視野に入れ、灘、通津、由宇を含めています。</li> <li>・ 3 中学校の不登校の数は全体の 3 分の 1 くらいですか。</li> <li>・ 全体の 4 分の 1 くらいから 5 分の 1 です。</li> <li>・ ある程度の不登校生徒の人数がいて、中央支援教室に行きにくいいため、開設されるのですね。基本的にそこの指導員のメンバーはどのように考えておられますか。</li> </ul>
<p>青少年課長 村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 追加で 4 名の嘱託職員の報酬費の予算がついたため、現在勤務されている有田支援員を含めて 5 名で対応していく予定です。</li> <li>・ 5 名で対応するとなると、周東の規模くらいに十分対応できるということですか。</li> </ul>
<p>青少年課長 村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周東で 42 名、先ほど申しました灘・通津・由宇の 3 中学校で 38 名の不登校の生徒がおりますので、周東とほぼ同じ数の不登校生徒がいると想定して進めております。</li> <li>・ 遅いくらいですよ。これからは、由宇地域の不登校の生徒にとっては充実した個別指導をしてもらえますね。毎年毎年懸案事項に、由宇地区に支援教室を開きたいとあったので、念願の開設ですね。頑張ってください。</li> </ul>
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 4 日に「県市教育委員会協議会研修会」に岩国市からは、私と牧中委員が出席しました。文部科学省 教科調査官の長山木綿子先生の授業を受けました。「岩国市英語教育推進フォーラム」では麻里布小の生徒を相手に授業をされましたが、研修会では教育委員 50 名が生徒になりました。また、宇部市から、ロボットに英語でどんどん話しかけ、ロボットはその英語力を把握しながら英語で会話を返すという英語教育を進めているとの発表がありました。これからも県内の他市町の英語推進教育への取り組みを情報共有しながら、岩国市においても英語教育推進に努めて参ります。</li> </ul>
<p>教育政策課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他にないようでしたら、以上で報告第 12 号を終わります。</li> </ul> <p>本日の議題は以上でございます。それでは、次回の教育委員会会議の日程について、事務局からお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回定例会は、11 月 19 日本庁 2 階特別会議室にて、午後 2 時 30 分から開催いたします。</li> <li>・ これをもちまして、平成 30 年第 14 回岩国市教育委員会会議を終了します。</li> </ul>

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 西村 宏

教育委員 廣田 登志子